

# 令和3年度 作物栽培管理情報第8号

令和3年12月発行 大分県中部振興局 集落営農・水田畑地化班

## 2. 農作業安全対策

### 1) 翌年産までの、農業機械の保全 ~不具合を来年に持ち越さないために~ (1) 栽培終了後の適切な保管 ※放置せず、適切な整備で来年作も快調に!

#### 農業機械を使い終わったら

#### ①屋内保管が大原則

- ・短期間でも防水シートの内側に溜まった湿気で外装及び内部に傷みが生じます。余分な修理費が発生し、最悪の場合高額な機械が全損することもあります。

#### ②使い残り燃料の扱いは、種類に応じ適切に

- ・ガソリンは変質しやすい上、気化することにより爆発事故等の原因となります。保管前に機械を動かし、燃料タンク内の残余分を完全に使い切りましょう。
- ・軽油は燃料配管内で途切れないよう、足して満タンにしておきましょう。

**注意**⇒農業機械の保管場所は火気厳禁です。消火器等の点検も重要です。

#### ③作動オイルは栽培終了と同時に交換

- ・オイル内にたまったゴミが機械の各部に詰まり、不具合の原因となります。栽培終了を機会に交換し、最適な状態を保ちましょう。

#### ④汚れ落としは念入りに、注意深く

- ・泥、ホコリ等の汚れがサビや目詰まりの原因となります。全て落として保管しましょう。
- ・機械には湿気で故障する部分（回路基板・作動ワイヤーの根元等）があります。水をかける場合は、慎重に行いましょう。

#### ⑤差して寝かせて効く潤滑油

- ・潤滑油が可動部を完全に覆うまで時間が必要です。注油して来年を待ちましょう。

#### ⑥バッテリーは完全に充電し、機械から取り外し保管

- ・放電による消耗や劣化を防ぎ、来年速やかに動けるようにしておきましょう。

#### ⑦ネズミ対策

- ・農作物目当てで侵入します。配線をかじる等により機械を破損させ、糞等で不衛生にもなります。清掃及び殺そ剤・粘着シート等による駆除を徹底しましょう。

#### ⑧耕耘爪等すり減る部分の点検及び交換

- ・作業効率や安全性を左右する重要な部分です。来年慌てないよう準備しましょう。

### (2) 保管中に整備する場合の事故防止 ※人も機械も事故なく安全に

#### 安全な整備を行うために

#### ⑨広い場所に出して整備

- ・農業機械等が詰め込まれた場所では無理な体勢となりやすく、外した部品の紛失や破損また生産者本人のケガ等の事故が起きやすくなります。

#### ⑩取扱説明書を確認しつつ整備

- ・機械は手順どおりに扱わないと思わぬ動きをすることがあります。また思い込みで分解すると、整備後に組み立てても元に戻せず正常に動かないことがあります。

**整備するときは、必ず取扱説明書を確認しながら作業しましょう!**

#### ポイント

- ・栽培終了後は農業機械を屋内に保管し、適切に整備することで翌年の不具合防止と修理費節減、事故防止が図れます。
- ・収穫期と並び、来年の栽培開始前後は農機メーカーも繁忙期で不具合が発生しても素早い対応が困難です。破損等は保管中に修理しておきましょう。
- ・農閑期の時間的余裕を活用し、来年産の快調なスタートに備えましょう。

お問い合わせ先：電話097-506-5791

ホームページ：http://www.pref.oita.jp/soshiki/11604/saibaikanrizyouhou.html